

交付運用報告書

第16期 (決算日2023年5月10日)

作成対象期間
(2022年5月11日～2023年5月10日)

第16期末 (2023年5月10日)	
基準価額	11,569円
純資産総額	1,606百万円
第16期	
騰落率	△ 3.4%
分配金(税込み)合計	200円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

▶当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、弊社のHP(ホームページ)で下記の手順でご覧いただけます。

<閲覧方法>

右記URLにアクセス⇒HP上部の「基準価額」を選択⇒当ファンドのファンド名称を選択⇒「運用報告書」を選択⇒「交付運用報告書・運用報告書(全体版)」の一覧の最新の運用報告書(全体版)を選択すると、当該運用報告書(全体版)を閲覧・ダウンロードすることができます。
※将来、HPの見直し等により、閲覧方法が変更になる場合があります。

▶運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「HSBC アジア・プラス」は2023年5月10日に第16期の決算を行いました。

当ファンドは、「HSBC アジア・プラス マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主に日本を除くアジアの企業の株式等で運用する投資信託証券に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指す投資方針に沿い、運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

HSBCアセットマネジメント株式会社

東京都中央区日本橋3-11-1 HSBCビルディング

«お問い合わせ先(投信営業本部)»

電話番号: 03-3548-5690

(営業日の午前9時～午後5時)

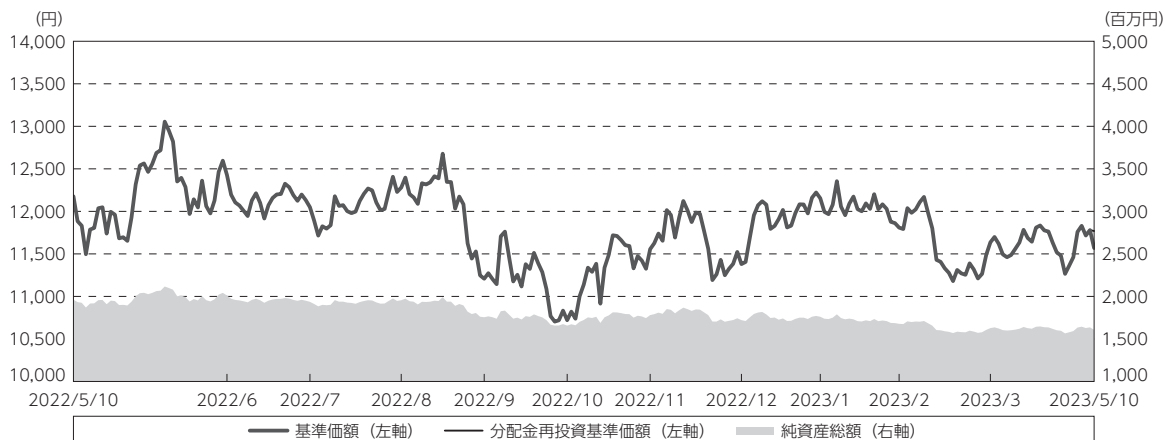
ホームページ: www.assetmanagement.hsbc.co.jp



◆運用経過◆

基準価額等の推移について

(第16期：2022年5月11日～2023年5月10日)



期首：12,177円

期末：11,569円 (既払分配金(税込み)：200円)

騰落率：△ 3.4% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2022年5月10日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

香港ドル、中国人民幣元などが対円で上昇したことがプラス寄与となりました。

<下落要因>

韓国株式、中国株式、インド株式などが全般的に下落し、基準価額のマイナス要因となりました。また、インドルピーなどが対円で下落したことがマイナス寄与となりました。

1万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	172	1.463	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(78)	(0.660)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(90)	(0.770)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	8	0.071	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.001)	海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡費用
(監 査 費 用)	(2)	(0.020)	監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(そ の 他)	(6)	(0.050)	振替制度にかかる費用、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出にかかる費用等
合 計	180	1.534	
期中の平均基準価額は、11,749円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、マザーファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

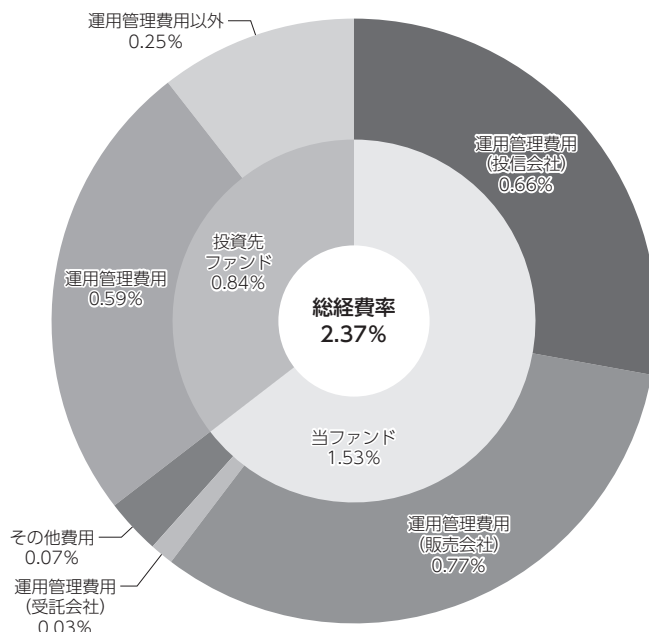
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) 委託者は2022年5月1日から2023年4月30日までの期間に、管理会社よりマザーファンドベースで56,404.05米ドルのマネジメントフィーを受領いたしました。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.37%です。



(単位: %)

総経費率(①+②+③)	2.37
①当ファンドの費用の比率	1.53
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.59
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.25

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

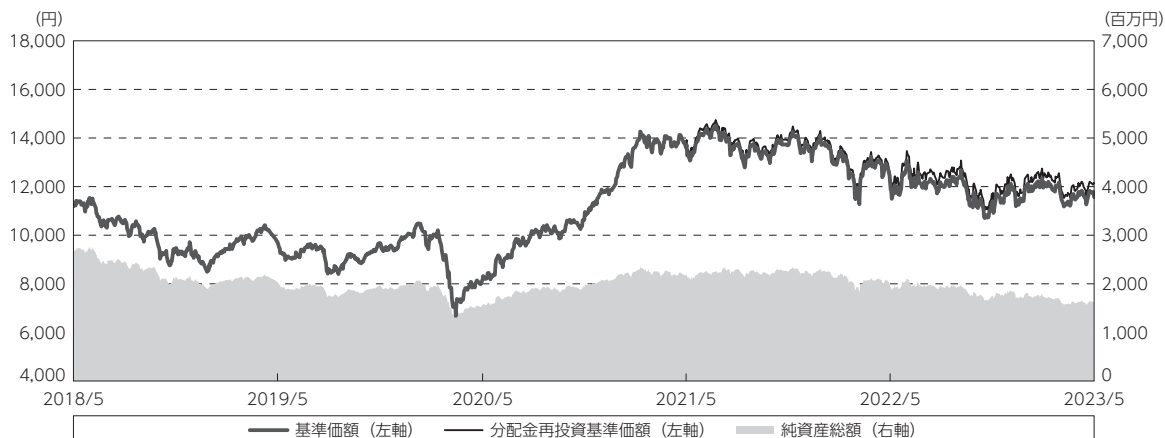
(注) 投資先ファンドとは、当ファンドのマザーファンドが組み入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について (2018年5月10日～2023年5月10日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2018年5月10日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2018年5月10日 決算日	2019年5月10日 決算日	2020年5月11日 決算日	2021年5月10日 決算日	2022年5月10日 決算日	2023年5月10日 決算日
基準価額 (円)	11,246	9,731	8,186	13,601	12,177	11,569
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	200	200	200
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 13.5	△ 15.9	68.6	△ 9.0	△ 3.4
純資産総額 (百万円)	2,657	2,035	1,562	2,167	1,960	1,606

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

投資環境について

【株式市況】

アジア株式市場では、MSCI AC アジア（除く日本）インデックス（米ドルベース）が前期末比△2.2%となりました。アジア株式市場は期初から2022年10月下旬まで下落傾向となりました。中国のゼロコロナ政策に伴う景気減速懸念、インド、インドネシア、韓国、台湾などにおけるインフレ加速を背景とした金融引き締め政策、米国の積極的な利上げなどが下落要因となりました。その後、中国のゼロコロナ政策の終了、米国の利上げペース鈍化観測などに伴い、2023年1月下旬までは上昇傾向に転じました。3月中旬にかけてはインドのアダニ・グループに対する不正会計疑惑、中国偵察気球をめぐる米中関係の緊張、欧米の銀行不安などを背景に下落傾向となったものの、期末にかけては一定範囲内で推移しました。

原則として、指数の騰落率は期首・期末の前営業日の数値をもとに算出しています。

【為替相場】

アジア通貨は対円でまちまちの展開となりました。香港ドルは、円に対して期を通じて上昇しました。香港ドルは米ドルと連動するため、米国の積極的な利上げを背景とした米ドル高・円安の流れを受けたことが上昇要因となりました。一方、インドルピーは、根強いインフレ懸念を背景に対円で期を通じて下落しました。韓国ウォンは、景気下振れリスクが払拭されない中で、円に対して期を通じて若干下落しました。

ポートフォリオについて

<HSBC アジア・プラス>

「HSBC アジア・プラス マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主に日本を除くアジアの企業の株式等に投資しました。

<HSBC アジア・プラス マザーファンド>

期を通じて、中国、インド、韓国、台湾、香港の株式を比較的高い比率で組み入れました。投資信託証券（ファンド）の組入比率は、「HSBC GIF アジア（除く日本）エクイティ クラス J 1 C」が約52～59%、「HSBC GIF アジア（除く日本）スモラー・カンパニーズ クラス J 1 C」が約41～46%でした。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

分配金について

当期につきましては、基準価額の水準・市況動向等を勘案し、200円（1万口当たり・税込み）とさせていただきます。

なお、留保益の運用につきましては特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第16期
	2022年5月11日～ 2023年5月10日
当期分配金	200
（対基準価額比率）	1.699%
当期の収益	—
当期の収益以外	200
翌期繰越分配対象額	4,337

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◆今後の運用方針◆

主要中央銀行による金融引き締め政策などを背景に世界の成長見通しに下振れリスクが高まっています。こうしたなか、外需の減少などがアジアの企業業績に影を落とす可能性はあるものの、経済活動の再開に伴う中国の景気回復への期待、インドなどにおける利上げ打ち止めの可能性、アジア株式の妙味あるバリュエーションなどがアジア株式市場にとり好材料になると考えられます。また、アジアでは成長のダイナミクスが強まっており、これは中長期的なアジア株式市場の支援材料になり得ると思われれます。

<HSBC アジア・プラス>

引き続き「HSBC アジア・プラス マザーファンド」への投資を通じて、日本を除くアジアの企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指します。

<HSBC アジア・プラス マザーファンド>

引き続き、高い収益性が見込まれ、割安感が強い国や地域、セクター、銘柄に注目し、これらを組み入れていく方針です。

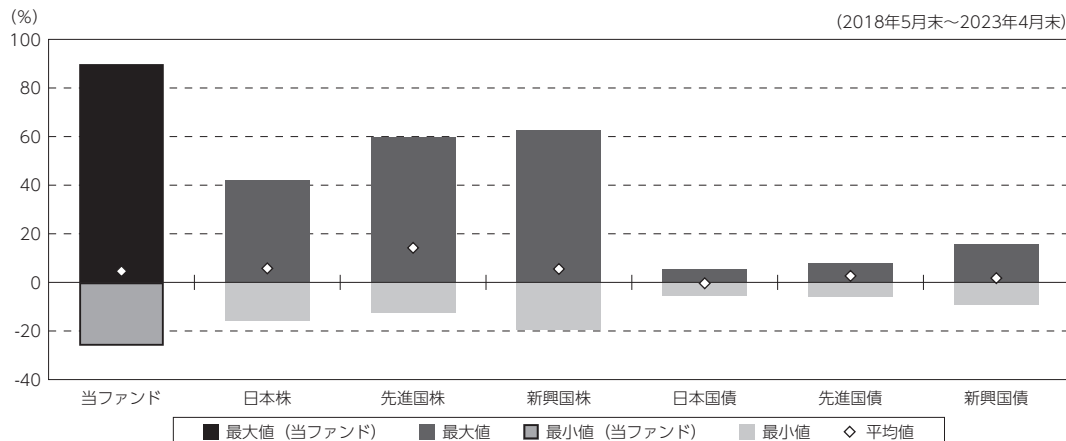
◆お知らせ◆

ありません。

◆当ファンドの概要◆

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	無期限	
運用方針	H S B C アジア・プラス マザーファンド受益証券への投資を通じて、主に日本を除くアジアの企業の株式等で運用する投資信託証券に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。	
主要投資対象	H S B C アジア・プラス	H S B C アジア・プラス マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	H S B C アジア・プラス マザーファンド	米ドル建てのルクセンブルク籍証券投資法人「H S B C グローバル・インベストメント・ファンドアジア（除く日本）エクイティクラス1C」の投資信託証券を主要投資対象とし、その他の投資信託証券にも投資します。
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ H S B C アジア・プラス マザーファンドへの投資を通じての主要投資対象ファンドの投資比率は、原則として70%（50%～90%）とします。 ・ 投資信託証券への実質投資割合には制限を設けません。 ・ 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 	
分配方針	<p>年1回の決算時（毎年5月10日、休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。</p> <p>①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②分配金額は、委託者が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。</p> <p>③留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p>	

◆ (参考情報) 代表的な資産クラスとの騰落率の比較 ◆



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	89.8	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	15.7
最小値	△ 26.1	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 9.4
平均値	4.6	5.8	14.2	5.5	△ 0.4	2.7	1.8

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年5月から2023年4月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

◆当ファンドのデータ◆

(2023年5月10日現在)

当ファンドの組入資産の内容

○組入上位ファンド

銘柄名	第16期末
HSBC アジア・プラス マザーファンド	102.5%
組入銘柄数	1銘柄

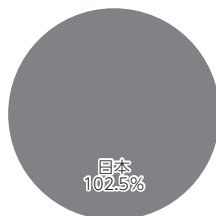
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

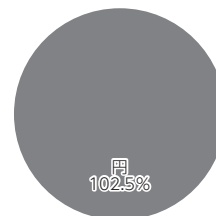
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。国別配分は、国・地域別による配分です。

○純資産等

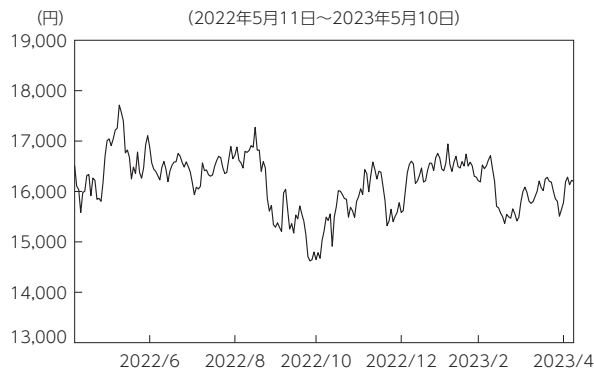
項目	第16期末
	2023年5月10日
純資産総額	1,606,219,584円
受益権総口数	1,388,338,180口
1万口当たり基準価額	11,569円

(注) 期中における追加設定元本額は43,535,464円、同解約元本額は265,465,093円です。

組入上位ファンドの概要

◆HSBC アジア・プラス マザーファンド (計算期間 2022年5月11日～2023年5月10日)

○基準価額の推移



○1万口当たりの費用明細

(2022年5月11日～2023年5月10日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) そ の 他 費 用	0	0.001
(保 管 費 用)	(0)	(0.001)
(そ の 他)	(0)	(0.000)
合 計	0	0.001

期中の平均基準価額は、16,055円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○組入上位ファンド

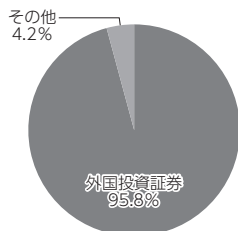
(2023年5月10日)

銘 柄 名	第16期末
HSBC G I F アジア(除く日本)エクイティ クラス J 1 C	55.8 %
HSBC G I F アジア(除く日本)スモーカー・カンパニーズ クラス J 1 C	40.0
組入銘柄数	2銘柄

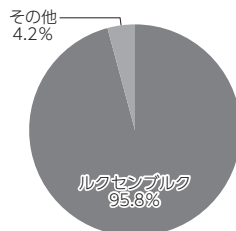
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

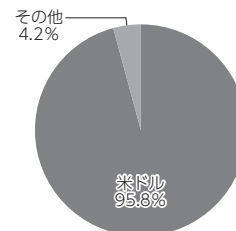
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。国別配分は、国・地域別による配分です。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

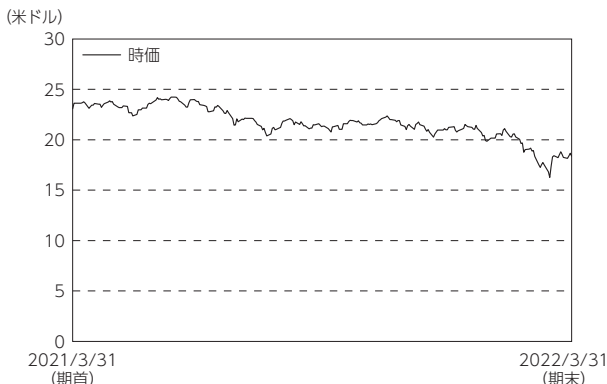
※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

マザーファンドにおける組入上位ファンドの概要

◆HSBC グローバル・インベストメント・ファンド - アジア (除く日本) エクイティ - クラスJ1C
 (「HSBC GIF アジア (除く日本) エクイティ」) (計算期間 2021年4月1日～2022年3月31日)

※以下のデータは、監査済み資料として作成時現在で入手できる直近の計算期間に関する情報です。

○時価の推移



* 上記は単位当たりの純資産額 (米ドル) で表示しております。

○1万口当たりの費用明細

「HSBC GIF アジア (除く日本) エクイティ」はルクセンブルク籍の外国籍投資証券であり、1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

○組入上位10銘柄

(2022年3月31日現在)

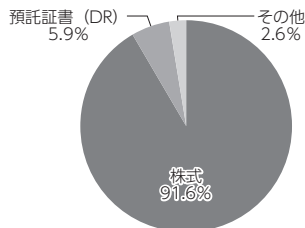
順位	銘柄名	国 (地域)	比率 (%)
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING	台湾	9.3
2	SAMSUNG ELECTRONICS	韓国	5.8
3	BAIDU	中国	5.2
4	MEDIATEK	台湾	5.1
5	TENCENT HOLDINGS	中国	4.8
6	L' OCCITANE INTERNATIONAL	ルクセンブルグ	4.7
7	GLENMARK PHARMACEUTICALS	インド	4.6
8	ATA GROUP	香港	4.6
9	SK SQUARE	韓国	4.0
10	HK EXCHANGES & CLEARING	香港	3.9
組入銘柄数		48銘柄	

・ 組入上位10銘柄は、本書作成時点現在入手できる「HSBC GIF アジア (除く日本) エクイティ」の決算日現在のものです。

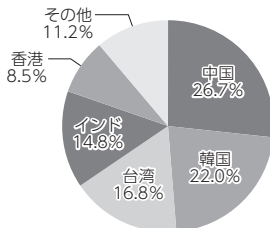
・ 組入比率は「HSBC GIF アジア (除く日本) エクイティ」を含むすべてのクラスを合算した純資産額に対する割合です。

・ 全銘柄に関する情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載されております。

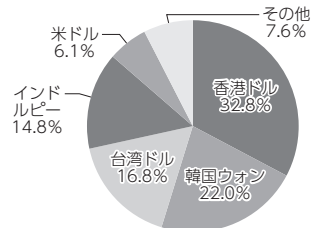
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



・ 上記は「HSBC GIF アジア (除く日本) エクイティ」の決算日現在のものです。

・ 配分は「HSBC GIF アジア (除く日本) エクイティ」を含む全てのクラスを合算した純資産額に対する比率です。

・ 国別配分は、国・地域別による配分です。

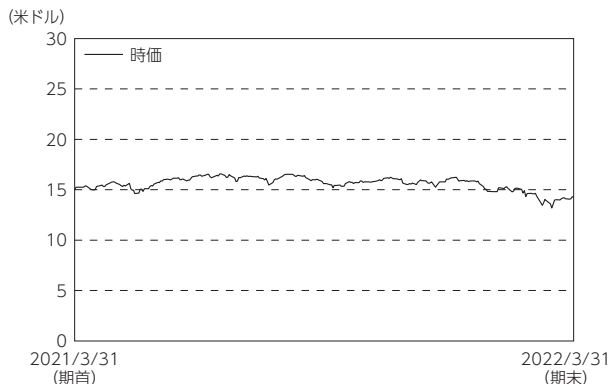
・ キャッシュ部分については、「その他」に含めております。

◆HSBC グローバル・インベストメント・ファンド - アジア (除く日本) スモーカー・カンパニーズ - クラスJ1C

(「HSBC GIF アジア (除く日本) スモーカー・カンパニーズ」) (計算期間 2021年4月1日～2022年3月31日)

※以下のデータは、監査済み資料として作成時現在で入手できる直近の計算期間に関する情報です。

○時価の推移



*上記は単位当たりの純資産額 (米ドル) で表示しております。

○組入上位10銘柄

(2022年3月31日現在)

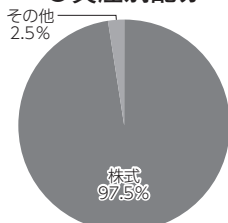
順位	銘柄名	国 (地域)	比率 %
1	MR DIY "M"	マレーシア	2.1
2	CRAFTSMAN AUTO	インド	2.1
3	BIG HIT ENTERTAINMENT	韓国	2.0
4	SATS	シンガポール	2.0
5	NGERN TID LOR	タイ	2.0
6	ROUTE MOBILE	インド	1.9
7	LENDLEASE GLOBAL COMMERCIAL REIT	シンガポール	1.8
8	SAPPHIRE FOODS INDIA	インド	1.7
9	PRIMAX ELECTRONICS	台湾	1.7
10	STARK	タイ	1.7
組入銘柄数		95銘柄	

・組入上位10銘柄は、本書作成時点現在入手できる「HSBC GIF (除く日本) スモーカー・カンパニーズ」の決算日現在のものです。

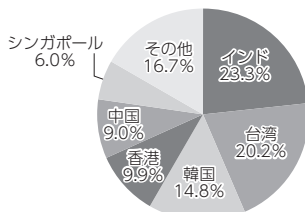
・組入比率は「HSBC GIF (除く日本) スモーカー・カンパニーズ」を含むすべてのクラスを合算した純資産額に対する割合です。

・全銘柄に関する情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載されております。

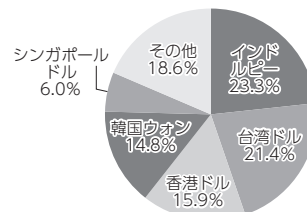
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



・上記は「HSBC GIF アジア (除く日本) スモーカー・カンパニーズ」の決算日現在のものです。

・配分は「HSBC GIF アジア (除く日本) スモーカー・カンパニーズ」を含む全てのクラスを合算した純資産額に対する比率です。

・国別配分は、国・地域別による配分です。

・キャッシュ部分については、「その他」に含めております。

◆指数に関して◆

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

○MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA – BPI 国債

NOMURA – BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。